



ふれあい

2010年11月
現在の会員数
男性 1,436人
女性 541人
合計 1,977人

No. 128
2011年/1月

題字 府中市長 野口忠直 書

社団法人府中市シルバー人材センター発行/府中市寿町3-2ふれあい会館2F/TEL042-366-2322



手づくりの会による作品

目次

- 新年のごあいさつ…………… 2
- シルバー人材センターフェア …… 3
- 2010フェアエイト多摩市 …… 3
- シニアのためのメイク教室 …… 4
- ボランティア清掃 …… 4
- しごと財団の実践フォーラムに参加… 4
- 晴見町ふれあい祭りに参加 …… 5
- 健康ウォーキング…………… 5
- 保育園児に芋掘り …… 5
- 互助会一泊旅行記 …… 6
- 卯年生まれの会員さん …… 6
- 新しいメンバー…………… 7
- シルバー川柳…………… 7
- お知らせ …… 7

| | | | | |
|--|---|---|---|--------|
| 監 事 | 理 事 | 常 務 理 事 | 副 会 長 | 会 長 |
| 職 市川 澤田 丸三 西 西 高 芝 小 北 和 安 黒 竹 棟 鎌 洪 遠 本 | 員 川 崎 井 村 中 山 坂 田 隈 木 原 林 村 田 田 川 内 方 田 谷 藤 間 | 一 泰 盛 修 一 和 俊 益 保 邦 政 央 敏 義 道 昭 京 初 鷹 義 正 幸 | 同 三 久 一 男 美 輔 路 男 彦 邦 充 彦 彦 夫 子 三 子 揚 恵 彰 司 男 | |

謹賀新年



新春のごあいさつ 会長 本間 幸男

新年あけましておめでとうござい
います。

希望に輝く平成二十三年の迎春
にあたり、会員各位並びにご家族
皆様にとつて幸多き年になります
よう祈念申し上げます。

平素、会員の皆様には、シルバー
事業に深いご理解をいただき、日々
就業に精励されるとともに健康で
生きがいのある暮らしの実現、豊
かな地域社会づくりにご活躍いた
だき、深く敬意と感謝を申し上げ

る次第であります。

迎えた平成二十三年は、当セン
ターにとりまして、大きな節目と
なる大切な年であります。昨年は、
3回に及ぶ総会を経て公益社団法
人の認可を受けるための一連の手
続きを完了させ、いよいよ本年4
月1日からスタートできる見通し
であります。新法人になりました
も、就業の仕方など従来と変わる
ことはありませんが、より公益性
の高い法人になりますので、会員



新年のごあいさつ 名誉会長 野口 忠直

新年明けましておめでとう
ございます。

社団法人府中市シルバー人
材センターの会員並びにご家
族の皆様におかれましては、
輝かしい平成23年の新春をお
健やかに迎えのことと心か
らお喜び申し上げます。
また、皆様には日頃より、市
政の様々な分野におきまして、

ご理解とご協力をいただいで
おりますことに、深く感謝申
しあげる次第でございます。

さて、貴センターにおかれ
ましては、地域の発展のため、
「共働・共助」の理念のもと日々
ご活躍され、市民の皆様をは
じめ利用者から高い評価を得
ておられますことは、誠にご
同慶にたえません。

の皆様には、より一層地域に貢献
する意識をもって活動されますよ
うお願いいたします。

長引く経済不況の中で、当セン
ターの事業実績は、民間の仕事は
減少しておりますが、府中市から
の緊急雇用事業の受注により、前
年比で若干の増加を見ており、こ
れが年度末まで続くことを願っ
ております。

さて、国のシルバー援助事業が
再仕分けの対象とされ、さらなる
補助金のカットが危惧されます。
いま全国のシルバー人材センター
挙げて、署名運動を展開し、これ
以上の補助金削減は行わないよう
各方面に働きかけています。今後
ともセンターとして自主努力は続

これもひとえに、本間会長
をはじめ、歴代の役員並びに
会員皆様のご尽力の賜物でござ
いまして、改めまして深く
敬意を表する次第でございます。

高齢化社会が進む現在、活
力ある社会を創るためには、
高齢者の皆様が長い人生の中
で培ってこられた知識や技能
を生かして、生涯にわたり、
自ら健康を保持しながら積極
的に社会に参加・貢献される
ことが大切であります。
本市といたしましては、今
後とも、高齢者福祉施策をは

けてまいります。高齢者が健康
で、安心して暮らせる社会を実現
するため、シルバー事業への公的
支援は必要不可欠であり、その行
方に重大な関心をもってまいり
たいと存じます。

公益社団法人として再スタート
する年に当たり、決意も新たに、
少子高齢社会に期待されるシルバ
ー事業の更なる進展のために、会
員皆様とともに前進を図ってまい
たいと存じます。

会員皆様がこの一年健康で、元
気に就業に精励され、生きがいの
ある、心身ともに豊かな毎日を過
ごされますよう祈念申し上げます。
のご挨拶いたします。

じめとする、様々な施策を推
進してまいりる所存でございます
ですので、どうか皆様には、健
康に十分ご留意をいただき、
今後ともなお一層のお力添え
を賜りますようお願い申しあ
げます。

新春にあたり、社団法人府
中市シルバー人材センターの
ますますのご発展と、会員並
びにご家族皆様のご健勝、ご
多幸を心よりお祈り申しあげ
まして、新年のご挨拶といた
します。

会員増強運動 1人1会員を勧誘しよう



ホームページ <http://www.fsc.or.jp/>
Eメール fsc@fsc.or.jp

● 府中市シルバー人材センターフェア
フォーリス広場で盛大に開催



府中市シルバー人材センターフェアは11月16～17日の2日間にわたり、けやき並木通りフォーリス「光と風の広場」において開催されました。

今年で3回目を迎えたこのフェアの目的は、広く市民の皆様とふれあうことにより、センターの事業内容を具体的に説明してご理解をいただくことでもあります。同時にセンターに所属する会員の豊富な経験や能力について

アピールすることのできる極めて重要なイベントであります。

フェアの内容は、展示、実演、販売、相談及び体験などの各コーナーに分けてそれぞれの担当会員が熱心に対応いたしました。会員が丹精を込めて作った小物販売コーナーは、相変わらずの人気がありました。

また、年末、年始に向けて植木剪定、襦袢張り、パソコンでの年賀状作り等、季節的なものに対する関心も多くありました。

刃物研ぎの実演、書道教室の体験コーナーでは老若男女を問わず賑わっていました。

ふとん乾燥車の展示には、市外からの引き合いもあり注目されました。入会相談コーナーには、具体的な入会希望者もいらつしやるなどの成果が見られました。

フェア開催期間中には、野口市長をはじめ市内外から2千名強の入場者があり、公益法人化に向けて、市民と融合をはかるための実り多いフェアとなり、二日間の幕を閉じました。

8市共催の2010フェアイベントを
多摩市シルバーセンターで開催

多摩地区8市シルバー人材センターが主催する「2010フェアイベント」が10月28日に多摩市関戸公民館にて盛大に開催されました。

地域を越えたイベントとして、平成15年に町田市シルバーセンターで開催されて以来、多摩地区8市のセンターが持ち回りで開催してきたもので、今回多摩市で一巡しました。

開会式は、開催地多摩市シルバー人材センターの難波会長の挨拶、東京しごと財団宮下理事長、そして多摩市阿部市長の祝辞がありました。

当センターからは、本間会長をはじめ各理事が参加しました。

会員交流会には、女性就業推進委員会から山口委員長と小場委員が参加して、女性の就業について意見交換しました。

また、会員発表会には、コーラス「サファイア」、民謡「日の出会」の皆さんが出演しました。会員作品展には、絵画、写真など多くの作品が展示され、好



評を博していました。

基調講演では「地域での働き場作りに向けて」の演題で、社会システムデザインプロジェクト総括リーダー田尾陽一氏の「高齢になっても年代を越えて活躍できる社会、安心して生活していけるシステム作り」など身近な問題についての有意義なお話がありました。

今後、センターが地域を越えて情報交換を行い、互いに提携していく必要性を感じさせたフェアイベントでした。

会員増強運動 1人1会員を勧誘しよう



http://www.fsc.or.jp/

fsc@fsc.or.jp

★市民の方を対象にした★
「シニアのためのいきいきメイク教室」を開催

女性就業推進委員会では、10月5日午後1時30分から ふれあい会館第4会議室において、「シニアのためのいきいきメイク教室」を開催いたしました。

市内の60歳以上の女性を対象に募集し、20名の方に参加していただき、当センターのPRをいたしました。まず、女性会員の就業状況を説明し、たくさんの方の同好会があり、それぞれ交流を深めシニアライフを楽しんでいること、なかでもパソコンや小物づくりの会等は、職群として仕事にも直結していることなどを話し、入会PR



をしました。

さて、メイクアップ教室ですが、イリス色彩研究所代表の郡司美千子先生と助手の太田静江先生をお招きして、高齢者のためのお化粧の仕方を教えていただきました。こめかみの方に肌を引き上げて、ファンデーションを塗る方法や、「Tゾーン」だけでなく「ほうれい線」の内側にもハイライトを入れるというアドバイスを聞いて、これは若い人達のお化粧法とは全然違うなと思いました。老化を目立たなくして人に不快感を与えないための方法です。

初め緊張していた皆さんも、だんだん打ち解けてきて、さかんに質問をしていました。後方で進行役として控えていた女性委員達も、眉やアイラインの描き方を教えてもらったり、服装の色の合わせ方を相談していました。

終了後、美しくお化粧をして颯爽と帰っていく人達をお見送りして、明るく健康的に粧おうことは、女性として最低限の身だしなみかと思いました。

けやき並木のボランティア清掃を実施

毎年10月の広報強調月間にけやき並木のボランティア清掃を行っています。今年も10月22日午前7時45分から、会員127名の参加で実施しました。

棟方総務部会長のあいさつで始ま

り、集合写真撮影のあと、会員たちはそれぞれの清掃用具を手にして、けやき並木を中心に、手際よく清掃作業を展開しました。

今回から、会員がシルバー人材センター名入りのベストを着用し、大いにPRにもなりました。年に3回の重要なボランティア活動のひとつであるけやき並木の清掃も、今回は新会員の参加が目を引き、入会説明会、面談等でのPR効果が徐々にあらわれているようです。

新公益法人に移行しますと、地域社会への奉仕活動を積極的に取り組むことが重要な課題でもあり、当センターの取組む姿勢が、通勤、通学、商店の多くの方々にPRすることができたボランティア清掃でした。



**東京しごと財団の
実践フォーラムに参加**

10月7日東京飯田橋の東京しごと財団に於いて開催されたシルバー人材センター実践フォーラムに、当センターから棟方・三坂・西隈の理事3名が参加しました。

安全就業標語の優秀作品の表彰は、最優秀賞は狛江市シルバー人材センターの北奥金雄氏の作品「危機一髪を守る ヘルメット」でした。当センターからは上杉洋子さんの「身につけよう 正しいルールと優しいマナー」が見事入賞しました。

次いでセンターで一番目に公益社団法人として認定された三鷹市シルバー人材センター事業事例の発表が行われましたが、公益社団法人となつて従来の組織を変更して行くのに手探りの状況であるとの苦労話がありました。

また、事業事例で目を引いたのは狛江市シルバー人材センターの「イージーオーダー事業「衣服工房ひまわり」で、専門に店を持ち、実績を上げていく模様です。

自分たちで作成した服を着て、約20名の会員がステージ上でファッションショーを行い、事業のアピールをしていました。

会員増強運動 1人1会員を勧誘しよう



ホームページ <http://www.fsc.or.jp/>
Eメール fsc@fsc.or.jp

「ゆうゆう」が晴見町商店会 ふれあい祭りに参加

10月23日に開催された「ふれあい祭り」晴見町商店街振興組合主催に「ゆうゆう」のスタッフ全員が参加しました。絶好の秋晴れのもと、野口市長も激励に駆けつけられ、大変な人出で大盛況でした。



阿波踊り・チンドン屋が賑やかに「ゆうゆう」の前の道路を練り歩き、広場ではジャグリング、ミニ上棟式、射的、ふわふわピストドック、可愛いポニーに子供達が歓声を上げていました。「ゆうゆう」は着ぐるみ(シルバー君・スーパーボールすくい)に加え、今回から小物作り班による「実演と店頭販売」

子供書道教室の「ミニ展」、特別参加の西府地区有志による「さつま芋販売」を実施、祭りを盛り上げることで、主催者からも大変感謝されました。

なかでもスーパーボールすくいは、スタート開始前から長蛇の列で、たくさんすくって得意満面の子供や、親子で競争等ほほえましい光景が夕方まで続きました。

センターのPR活動を併せて実施し、入会希望者、書道教室の申し込みなどの問合せがたくさん寄せられました。

第5回健康ウォーキング 矢川から大國魂神社まで

10月23日、天高く馬肥ゆる秋！絶好のウォーキング日和に南武線矢川駅北口におにぎりを入れたリュックを背負って本間会長はじめ43名がにこやかに集合しました。9時5分矢川駅スタート。府中用水沿いを府中に向かって歩き、青い空、白い雲の下、たわやかな柿の実、刈入れ後の田んぼ、野草、花々に見とれながら秋の路を軽やかに歩き、やがて国立市郷土文化館、次に古民家で一休み、城山公園下を歩き、田畑の道を谷保天満宮へ。ご存知菅原道真ゆかりの神社であり、又わが国交通安全発祥の地です。梅の名所として名高い梅林を通り、さらに府中用水沿いを歩きハケを登り歩いていくと、当センター直営の農園についた。ケナフが2m

位にのびて成育し、他にさつま芋、里芋、ネギ、ヤーコンなど見事に育った菜園は西府地区会員が自主参加で菜園づくりに挑戦しているとのことでした。そして西府文化センター前の御嶽塚公園でお弁当！三々五々あちらこちらで美味しい弁当をパクついて楽しく語らう。



午後は新田川緑道を歩き分倍河原駅前から高安寺へ。ここには古井戸があり、弁慶が義経の赦免嘆願のため、井戸の水で墨をすり大般若経を書写した、との本間会長の説明でした。

次に落ち着いた庭のある善明寺を観て、最後に大國魂神社へ。神社の裏側には大きなイチヨウの木もあり、樹齢千年のご神木に圧倒されます。神社の横には君が代にも歌われているさざれ石が置かれています。用水路沿いの誇りある郷土の名所旧跡巡り、秋のさわやかな風景を無事皆様の楽しい笑顔で歩き終えることができました。

西府地区会員作の芋畑で 保育園児が芋掘体験

秋も深まった11月25日西府の畑が可愛い子供たちで賑わいました。

西府地区の有志会員が地域活性化と親睦、ボランティアを目的に4月から地区内にあるセンターの畑を借りて試行錯誤しながら育てたさつま芋が見事に実ったので、市立西保育所に芋掘体験として呼びかけたところ、年長さん21人が保育さんに引率されて元気にやってきました。

本間会長や地域会員が手伝って一緒にわいわい、小さな手を泥だらけにして大きなさつま芋を掘り起こして「やったあ！」「おおいよ」と歓声がいつぱい、「楽しかった！」「ありがたう！」「と喜んで可愛い笑顔で帰って行きました。お芋は給食時に食べる予定です。



● 例会一泊研修旅行記 ●
**話題の八ッ場ダムを通り
 湯もみの上州草津温泉へ**

毎年恒例の互助会主催一泊研修旅行も今回で最後となりました。

今回は日本三名泉の一つである群馬県草津温泉です。自然沸き出量は日本一を誇る「源泉かけ流し」の湯と晩秋の季節料理も楽しみの一つです。

第一回目は11月25・26日、バス3台で97名、第二回目は11月29・30日、バス2台で55名の会員が参加されました。

第二回目は好天気に恵まれ、午前8時に出発。一路中央道・圏央道・関越道を快適に走行し、途中「伊香保おもちゃと人形自動車博物館」を見学。懐かしいレトロ感漂う昭和のおもちゃや看板ポスターなど、クラシックカーやグッズが飾られていました。昼食は



「上州物産館」で舞茸や野菜のてんぷらの温かい蕎麦を味わい「まいたけセンター」で舞茸の栽培工場を見学。途中八ッ場ダム建設で揺れる川原湯温泉地区のまた工事の進む高い道路を見上げて通過し、「浅間酒造観光センター」では、鑑評会で優秀賞を受賞した大吟醸「秘幻」を試飲しました。草津温泉旅館「ホテル桜井」に午後4時前に到着。豪華なビート広い宴会場はゆつたりとくつろぎます。

夜6時からの宴会が始まるまで、温泉街の中心にある湯畑の隣にある「熱の湯」の名物「湯もみと踊りシヨウ」を見に出かけました。大広間の夕食宴会は、丸山互助会副会長のあいさつと遠藤センター副会長の乾杯の音頭で始まりました。歓迎の草津音頭の踊りや会員の皆さん方のカラオケ歌謡の熱唱で大いに盛り上がり、楽しんだ一夜でした。

2日目も快晴で、朝の時にホテルを後に「浅間火山博物館」へ向け出発。くつきりとした雪景色の浅間山を展望できる博物館で、噴火の歴史を見学。「きのこむら深山」で豊富な種類のキノコ汁鍋で昼食を頂き、別所温泉にある厄除の観音様として親しまれている北向き観音を参拝。長野県を後に上田菅平ICから高速上信越・関越道を府中に向け、夕刻5時30分定時に府中に無事に到着。舞茸のお土産を各自受け取り、互助会主催最後の一泊研修旅行も無事に終わりました。

卯年生まれの元気な会員さん



二関美沙子さん 新町
 府中市内の会社に61才まで勤めて、センターに入会

された10年になります。お二人の娘さんはすでに嫁がれており、ご主人は55才でお亡くなりになりましたが代わりにその年お孫さんができたそうです。お父様がセンター創業時の理事さんで、大変お世話になった方です。入会時はシルバーパスの仕事、生涯学習センターの図書整理の仕事、そして現在は新町文化センターの業務員で活躍されています。その間、パソコン同好会や、パソコン職群でも活躍されました。また趣味が広く、絵手紙、陶芸、写真と幅が広く時間が足りないくらいですが、加えて都内の「銭湯お遍路」で府中、調布、国分寺の銭湯は制覇されたそうです。また地元風の風物や歴史などに詳しくなる「多摩武蔵野検定」で2級の資格を取り、先日1級を受験されたそうです。センターに入ってから、色々なことができて楽しく仕事もできて本当に良かったとお話いただきました。



岡野 豊さん 多磨町
 青梅の生まれで、ご実家は和菓子屋さん。府中に居を構えて、40年。世田谷の

運送会社から日本水産に出向して、スーパーに品物を販売する仕事や電機メーカーの配送を各10年程やって、警視庁の優良運転手の表彰をいただいています。60才で入会して10年目です。最初から運転業務に従事しています。9人でローテーションを組

んで、週2回指示書によって、植木班の脚立を作業前日にお客さま宅に運び、作業翌日に切り枝を運んだり、公園除草班の枯れ葉を運んだり、事務所と、作業場とワークスペースの間を走りまわること、結構力仕事で、12月が一番忙しい時期、帰りは5時、6時だそうです。二人乗車で無事故無違反を合言葉で頑張っています。酒も煙草もやりませんが、休日は地元の間とサンカマ場でゴルフに興ずるのが楽しみです。これは90歳まで続けると張り切ってお話されました。



中里美重子さん 天神町
 天神町2丁目の班長さんで、今年7月で84才になります。山形でお生まれ

れになり、府中に住んで30年。センターに入会したのが平成8年。実はそれまでご主人様が公園の清掃と班長を10年も務めていられたのですが、突然脳梗塞で倒れ、当時の事務所の担当職員に懇願されて、そのまま仕事も班長も引き継いで入会し、以来14年、一本木公園の月2回の清掃と、毎日の平和の森公園のテニスコートの鍵開けを風の日も雨の日もやっています。一本木公園は狭いのに大木が茂り、落ち葉の処理が大変です。班長の仕事も長くやっていると会員さんより奥様の方と面識の方が強くなっています。家では88才のご主人の介護が忙しいのですが、古布を使った布絵で風景や山花、鳥などの布絵を作っています。会員になって10年の表彰もいただき、本当に感謝していると元氣にお話されました。

会員増強運動 1人1会員を勧誘しよう



http://www.fsc.or.jp/

fsc@fsc.or.jp



新メンバー紹介

10～11月の新入会員

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|---------|-------|-------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 10月入会 | 宮西町 西府町 | 関 敏昭 | 北川 博国 | 若松町 大瀧 勇 | 萩原 實 | 上田 清子 | 佐藤 勲 | 山崎 正勝 | 熊澤 里恵 | 四 谷 | 今井 定吉 | 住吉町 | 住吉町 | 鹿島 好枝 | 押立町 |
| 岡本 和彦 | 本宿町 | 関 敏昭 | 本宿町 | 八幡町 昌弘 | 齋藤 茂 | 南 町 | 西府町 | 石塚 照代 | 南雲 常夫 | 武藤 一雄 | 本宿町 | 本宿町 | 本宿町 | 武藤 一雄 | 本宿町 |
| 清水 正子 | 南雲 常夫 | 市川 信子 | 本宿町 | 紅葉丘 正弘 | 熊澤 里恵 | 熊澤 里恵 | 日新町 | 野田 正弘 | 熊澤 里恵 | 竹森 義幸 | 日新町 | 日新町 | 日新町 | 日新町 | 日新町 |
| 山崎 正勝 | 熊澤 里恵 | 四 谷 | 今井 定吉 | 若松町 利夫 | 萩原 實 | 上田 清子 | 佐藤 勲 | 小山 典子 | 杉山 節子 | 松永 昭 | 南 町 | 南 町 | 南 町 | 南 町 | 南 町 |
| 白糸台 典子 | 杉山 節子 | 杉山 節子 | 松永 昭 | 高野 文子 | 津高 和代 | 計29人 | 中込 健二 | 高野 文子 | 津高 和代 | 計29人 | 中込 健二 | 中込 健二 | 中込 健二 | 中込 健二 | 中込 健二 |
| 藤原 隆 | 小関 敏夫 | 小関 敏夫 | 小関 敏夫 | 池田 直子 | 小関 敏夫 | 小関 敏夫 | 小関 敏夫 | 池田 直子 | 小関 敏夫 | 小関 敏夫 | 小関 敏夫 | 小関 敏夫 | 小関 敏夫 | 小関 敏夫 | 小関 敏夫 |
| 山田 俊一 | 八幡町 | 八幡町 | 八幡町 | 山田 俊一 | 八幡町 | 八幡町 | 八幡町 | 山田 俊一 | 八幡町 | 八幡町 | 八幡町 | 八幡町 | 八幡町 | 八幡町 | 八幡町 |
| 出口あき子 | 本城 久 | 本城 久 | 本城 久 | 出口あき子 | 本城 久 | 本城 久 | 本城 久 | 出口あき子 | 本城 久 | 本城 久 | 本城 久 | 本城 久 | 本城 久 | 本城 久 | 本城 久 |
| 新 町 | 沢路 正明 | 沢路 正明 | 沢路 正明 | 新 町 | 沢路 正明 | 沢路 正明 | 沢路 正明 | 新 町 | 沢路 正明 | 沢路 正明 | 沢路 正明 | 沢路 正明 | 沢路 正明 | 沢路 正明 | 沢路 正明 |
| 渡辺 兼利 | 紅葉丘 | 紅葉丘 | 紅葉丘 | 渡辺 兼利 | 紅葉丘 | 紅葉丘 | 紅葉丘 | 渡辺 兼利 | 紅葉丘 | 紅葉丘 | 紅葉丘 | 紅葉丘 | 紅葉丘 | 紅葉丘 | 紅葉丘 |
| 中台 法子 | 向井 鎮夫 | 向井 鎮夫 | 向井 鎮夫 | 中台 法子 | 向井 鎮夫 | 向井 鎮夫 | 向井 鎮夫 | 中台 法子 | 向井 鎮夫 | 向井 鎮夫 | 向井 鎮夫 | 向井 鎮夫 | 向井 鎮夫 | 向井 鎮夫 | 向井 鎮夫 |
| 栄 町 | 朝日町 | 朝日町 | 朝日町 | 栄 町 | 朝日町 | 朝日町 | 朝日町 | 栄 町 | 朝日町 | 朝日町 | 朝日町 | 朝日町 | 朝日町 | 朝日町 | 朝日町 |
| 直井八重子 | 戸塚 正夫 | 戸塚 正夫 | 戸塚 正夫 | 直井八重子 | 戸塚 正夫 | 戸塚 正夫 | 戸塚 正夫 | 直井八重子 | 戸塚 正夫 | 戸塚 正夫 | 戸塚 正夫 | 戸塚 正夫 | 戸塚 正夫 | 戸塚 正夫 | 戸塚 正夫 |
| 北山町 | 若松町 | 若松町 | 若松町 | 北山町 | 若松町 | 若松町 | 若松町 | 北山町 | 若松町 | 若松町 | 若松町 | 若松町 | 若松町 | 若松町 | 若松町 |
| 市川ヨウ子 | 齊藤 栄司 | 齊藤 栄司 | 齊藤 栄司 | 市川ヨウ子 | 齊藤 栄司 | 齊藤 栄司 | 齊藤 栄司 | 市川ヨウ子 | 齊藤 栄司 | 齊藤 栄司 | 齊藤 栄司 | 齊藤 栄司 | 齊藤 栄司 | 齊藤 栄司 | 齊藤 栄司 |

会員計報

ご冥福をお祈り申し上げます
清水が丘 計15人
大坪勝実様 白糸台
梅澤成年様 水野正義様
北山町 大貫基一様

安全標語を募集中です 応募をお待ちしています

今月1月は安全強調月間です。これに伴い「安全標語」を募集しています。応募用紙(班長さんを通して配布済み、または事務局にあります)に記入のうえ、1月31日(月)までにセンター事務局へ提出してください。
テーマ1は「自転車事故の防止について」テーマ2は「加齢による体力の低下について」、未発表の作品に限ります。優秀作品は、東京しごと財団主催の安全就業推進大会において表彰され、統一標語として広く周知されます。

シルバー川柳

よく忘れうっかりうっかりと言いつつ
芝辻 克己
カンカンと響くは 牧場か 国会か
この頃は 電車の中が 化粧室
川崎 盛久
パソコンは いうこと聞かず 昔の吾
萬代 慶昭(ワタタケ)
だまっても 席ゆずられる 顔になり
イチローも 小沢と鈴木で 桁違い
飯田 博
胡麻摺りて 己が器量も ここまでと
岡 一郎(笠弥)
読者の皆さんの投稿をお待ちしています。

ふれあいまつり 演芸大会

日時：平成23年2月7日(月) 10時開始
場所：府中グリーンプラザ けやきホール
どなたでもご入場いただけます(入場無料)

出演：センター会員・同好会
演目：カラオケ・民謡・民舞・コーラス・詩吟など

第16回 会員作品展 「趣味多彩！」

日程：平成23年2月4日(金)～7日(月)
時間：10時～17時
※4日は13時開場 7日は15時終了
場所：府中グリーンプラザ 5階展示ホール
内容：絵画・写真・書・彫刻・工芸・手芸・小物・その他

配分金支払日

- 1月14日(金)
- 2月15日(火)
- 3月15日(火)

就業相談日

- 1月11日(火)
 - 2月8日(火)
 - 3月8日(火)
- 1時から4時まで。
事前に事務局に連絡の上
お出で下さい。

編集後記

新年号の巻頭を飾るのは恒例の本間会長並びに野口府中市長の力強い年頭のご挨拶、また盛会裏に終了した「府中市シルバー人材センターフェア」の開催概況、さらに特筆すべきは地区の有志会員が親睦、ボランティアを目的にセンターの畑を活用して見事近辺児童を対象に芋掘り体験の企画成功談が報告されております。
巻末は今年も兔年干支に因んでお元気で活躍中の会員御三方の近況プロフィールをご紹介しております。
(広報部会 三坂)



けやき並木清掃ボランティア



西府ふれあい農園サツマイモの収穫



中部地区 中央地域班 自主的にボランティア活動



シニアのためのいきいきメイク教室



シルバー人材センターフェアの様子



シルバー人材センターフェアの様子



シルバー人材センターフェア・エトの会員発表会



ケナフ名刺作製の実演(都職業能力開発センター)